

第1、 近況、雑感

1. 昭和38年(1965年)3月28日、高校後輩の兼子カヨと結婚して60年、長女・長男とそれぞれの配偶者にも恵まれ、孫 5 人、皆健康で、これまでを支えてくれた方々に感謝の気持ちを伝えられることを心底嬉しく思っています。金婚式の 10 年前には出雲大社を訪ねる記念旅行でしたが、今度はダイヤモンド婚、結婚還暦祝いということで、子供たちが1年前から計画していた、JR九州の人気の高い“クルーズトレインななつ星 in 九州4日間の旅”に乗車することになり、前後含め6日間、桜の九州を一周し、皆様に祝っていただきました。
2. ところがこれぞ神仏の思し召しかと考えるしかない現象に出会うことになりましたのでご報告させていただきます。この国の先祖の人たちは「雲はどうして発生するか」を考えた末、花崗岩(ケイ酸塩鉱物)の粉末が空中に舞い上がって雲になる、雲の母があるためだとして、その物質を“雲母”と名付けて親しんだと書かれた書物を読んだことがあります。英名で“マイカ”和名では“きらら”は、いうまでもなく、<MINERA21>の基本資材であり、6万年以上地上に露出して太陽光にさらされたものを使用しています。
3. ところで、この旅行の 2 日目は列車から降りて妙見温泉「石原荘」という高級温泉旅館に移り、通されたのが 4 室しかない離れの一室で、なんと部屋名が「きらら」だったのです。「きらら」に通されて、和室に座ってこの偶然に感謝しお茶をいただこうとして、ふと床の間に目をやると、なんとなんと、疑うべくもない、30年前から私のギャラリーで収集し続けている UENO-Blue で名を馳せた上野憲男氏の箱絵が掛かっているではないですか。米寿まで生きてきて、これほど驚いたことはなかったと思います。彼の絵がダイヤモンド婚を祝って出迎えてくれたのです。念のため遺族であるご子息に電話をして確かめてみたところ、20年近く前、石原荘建設のプロデューサーが栃木的那須高原のアトリエまで頼みに来られて、6点を制作提供したことは知らされているとのことで、私以上に私と憲男氏のつながりに驚いていました。
4. 月末札幌に戻ると、遅刻気味の大雪の山、世界分断のトランプ関税(官税?)劇で、米不足だったこの国の食料自給はどうなるのか、心配ごとの山をかき分けて、同封のような最後の遊泳を企画しましたので、もう少しお付き合いいただきますようお願いする次第です。

第2、 今月の報告文

- ・農用地等利用最終構想について（山形健次郎）

第3、 今月の本

- ・「AIにはできない」（栗原聡、角川新書 1,012 円）
人工知能研究者が正しく伝える限界と可能性
- ・「ChatGPT の先に待っている世界」（川村秀憲、dZERO 2,200 円）
- ・「健康食品で死んではいけない」（長村洋一、講談社 990 円）
- ・「サプリメントの不都合な真実」（畝山智香子、筑摩書房 968 円）
知ったら怖くて飲めなくなる
- ・「シンギュラリティはより近く」（レイ・カーツワイル、NHK 出版 2,640 円）
人類が AI と融合するとき

第4、 今月のことば

- アメリカは世界を必要としているが、世界はアメリカを必要としていない。（エマニュエル・ドット）
- 「健康食品」は病気の人を使うことを想定していない。そのため持病のある人が使用した場合の安全性や、他の医薬品との相互作用などはあまり考えられていない。（畝山智香子）
- 脳は、1 つのことに注意を向け続けることがあまり得意ではない。ゆえにトレーニングをして鍛えることが重要である。逆に脳を使わないと、物事に集中できない脳になってしまう。（川島隆太）

“農用地等利用最終構想について”

1. 名称：積丹半島縄文の丘共同農場

2. 構想・意図

88 歳 8 か月、パッパッパーと早くやれと天の声、有効な残り時間を考えていては何もできないことは体験済み。30 年以上前、あのバブルで 90 億円以上の純負債を背に、MINERA21 でなんとか生き延びて、最終最後の決断です。ここまで協力して来てくれた方たちと一緒に体感したい、出来そうと考え続けてきた自由農園を作り、生き方の見直し。継続のみ力、営利を主目的としない参加者の遊び場で、一日でも長く楽しみたいと決意しました。

3. 目的土地

別紙の 岩内郡岩内町野東 219 番地、293,211 m² (88,720 坪) を新たに取得することになりましたので、他のほぼ 100ha と共に、それぞれの有効活用を目指します。

4. 活動内容

- 1. 自生・野生植物の利活用
- 2. 製酒用大麦類の生産
- 3. 湧水を利用したミネラル関連商品の生産
- 4. 森林の育成と薪炭の生産
- 5. 深海水を利用した製塩と関連商品の生産
- 6. 小動物の飼育と展示
- 7. 各種岩石・鉱物の採掘事業
- 8. 地産地消観光レストラン・野営場の運営
- 9. 屋外音楽ステージの開設
- 10. 農林水産関係用具・図書の集約

5. こころざしと想い（※参加者の願いをもっと語って、追加してください）

- 1. 縄文人の暮した大地に腰かけて人生を考える
- 2. 北海道を抱きしめ、自然に感謝する日々を
- 3. 食糧の自給自足に踏み出す
- 4. 異常気象とどう対峙するか
- 5. 天然水の恵みを全身で
- 6. かの有島農場構想に想いを馳せて
- 7. 泊原発を身近にして、一人の人間として本気で考える
- 8. 太陽と月と雨風の恵みを知る毎日
- 9. 都会と人間関係の疲れを取除く場所に

-10. 勝ち負けにこだわらない楽しい農作業を

6. 開設許可責任者 農事組合法人サンケン農園

7. 開設時期 令和7年5月10日 測量完了をまって

8. 資金計画（運用資金を含む）

-1. 当初資金 3億円

-2. 追加資金 2億円

9. 協賛・参加など今後の活動について

-1. 協賛・参加をお願いしたい方を、一人一人顔を思い出したり想像しながら記載しているうちに150名を超えてしまいました。

-2. しかし巷では、名簿内容の流出などで裁判や話題になる例も多いことから、期待する方々に迷惑をおかけしないよう全部削除し、参加表明いただいた方を中心に計画を進めて参りたいと考えていますので、どうかご連絡のほどお願い申し上げます。

2025.4.1 執行役仮代表 山形健次郎